**アセスメントのためのフォーマット**

**様式3－2**

**令和6年度　　滋賀県高次脳機能障害支援養成研修　【実践研修】**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 本人の希望（できるだけ本人の言葉で）  （在宅期～休職中）：働きたいけど、前と同じ仕事は無理  （現在）： | | | | |
| 在宅期～休職中 | | 復職～現在 | | |
| アセスメント（評価）  理解・解釈・仮説 | ニーズ  （本人の希望、支援者からの提案） | 復職から現在の情報を記載 | アセスメント（評価）  理解・解釈・仮説 | ニーズ  （本人の希望、支援者からの提案） |
| 体に関すること | **（本人の希望）**  ・復職について一緒に考えてほし  　い  ・「はい」「いいえ」で答えやすい質問にしてほしい  **（支援者の提案）**  ・１日の日課をスケジュール化し  わかりやすくする  ・決まった日課にして、その通り  　行えるかやってみる |  | 体に関すること | **（本人の希望）**  **（支援者の提案）** |
| ・1人で散歩が出来、家まで迷わずに帰れる  ・ふらつきが少なくなった  ・留守番が出来る  ・言われたことには取り組める  ・最後までやりきることが困難  ・繰り返すことで覚えられることもある  ・あいまいな指示では理解できない  ・複数人との会話はついていけない  ・身体的なマヒが少ないので、周囲に理解され  にくい |  |
| 心や気持ちに関すること | 心や気持ちに関すること |
| ・主治医に言われたことは守って、毎日散歩行ける  ・何事にも無頓着で、周囲のことは気にならな  　い  ・自発性が低下しており、声をかけないとず  っとテレビを見ている  ・働きたいけど、前の仕事は無理と思っている |  |
| プランニング  （支援計画策定） |
| ・記憶や行動を補助するツー  ルを一緒に考えて作る  ・スケジュールを考える  （散歩や家事の継続、健康の  維持）  ・家族へ疾病教育を行う  ・他の家族と話せる機会を持  ってもらう  ・職場とやりとりをして、本人  の状況を伝える  ・復職以外の働き方も検討す  　る |
| 社会的、環境に関すること  （家族、学校、仕事など） | 社会的、環境に関すること  （家族、学校、仕事など） |
| ・構造化された環境だと、出来ることが増える  のではないか  ・妻が疲弊しているので、家族の障害理解が  必要  ・息子からの協力が得られないか確認が必要  ・会社が現在の状況に合った働き方を想定し  ていないのは本人の障害がよくわかっていな  いからではないか |  |